

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 1 愛知県	愛知県の農業は、特定の品目に偏らず、野菜、畜産、花きなど多様な品目を組み合わせて生産しているのが特徴です。特に野菜の出荷額は全国トップクラスであり、キャベツやブロッコリーなどが有名です。選択肢にある新潟県は「米」、和歌山県は「果実」の産出額割合が非常に高いことで知られており、愛知県の統計的な特徴とは異なります。
問2	答え 4 名古屋港	愛知県に位置するこの港は、背後に日本最大の工業出荷額を誇る中京工業地帯を控えています。特に豊田市周辺を中心とした自動車産業の集積が著しいため、完成車としての自動車や、その心臓部である内燃機関などの機械類が極めて高い割合で輸出されています。
問3	答え 2 加賀友禅や金沢箔などの伝統的工芸品が、城下町としての歴史的背景の中で発展し、今もなお受け継がれている	金沢市は加賀藩の城下町として発展した都市であり、当時の藩主が文化振興に力を入れたことから、加賀友禅（染物）や金沢箔（金箔）などの優れた工芸技術が育まれました。これらは現代において「伝統的工芸品」として指定されており、歴史的な街並みとともに観光資源や地域の重要な産業となっています。他の選択肢にある「門前町」や「近郊農業」などは北陸地方のこの文脈においては誤りです。
問4	答え 4 海に面していない内陸県であり、盆地の縁に広がる水はけの良い扇状地を利用して果樹栽培が行われてきたから。	山梨県は海に面していない「内陸県」であるため、統計上の漁業産出額は原則として計上されません。また、甲府盆地などの周辺には水はけが良い「扇状地」が発達しており、古くからブドウやモモなどの果樹栽培に適した土地利用が行われてきました。この地形的・地理的条件が、果実生産に偏重した独自の農業構造を作り出しています。
問5	答え 3 豪雪に耐えるための急勾配な茅葺き屋根が特徴の白川郷の合掌造り	岐阜県の白川郷は、富山県の五箇山とともに「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として世界文化遺産に登録されています。この地域は日本有数の豪雪地帯であり、雪の重みで家屋が倒壊するのを防ぐため、屋根が急勾配の茅葺き（合掌造り）になっているのが最大の特徴です。選択肢にある屋久島や知床は世界自然遺産であり、厳島神社は広島県に位置する文化遺産です。
問6	答え 3 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用していた層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。	富山ライトレールの利用者構成を調査したデータによると、以前から鉄道（JR）を利用していた人は全体の半数に満たない46.8%です。残りの約半数は、以前は自家用車で移動していた人や、新しくその路線を使い始めた人、あるいは徒歩・自転車から切り替えた人たちです。特に自家用車や新規層が合計で3割以上を占めていることは、JR富山港線を利用していなかった人が新たに鉄道を利用するようになったことを示しています。
問7	答え 2 日本海に面しており、県南部にはリアス海岸が発達した若狭湾がある福井県である。	福井県は中部地方の中でも日本海側に位置する北陸地方の県です。西側で京都府、南側で滋賀県と隣接しており、嶺南地方と呼ばれる南部エリアには複雑な海岸線を持つ若狭湾が広がっています。石川県は福井県の北東側に位置し、滋賀県は海に面していない内陸県であるという点から判別が可能です。
問8	答え 4 加賀国に置かれた城下町を中心に発展し、現在も歴史的な街並みや伝統産業が色濃く残っている。	金沢は、江戸時代に「加賀百万石」と呼ばれた前田氏の城下町として栄えた都市です。戦災を免れたことから、城を中心とした道路網や用水路、武家屋敷などの歴史的景観が維持されており、それが現代の観光資源や都市のアイデンティティとなっています。他の選択肢にある港町や門前町、宿場町といった起源とは区別する必要があります。
問9	答え 3 ブラジル	かつて日本から海外への移住が進んだ歴史があり、特にブラジルには世界最大規模の日系人社会が形成されました。1980年代後半からの日本国内の労働力不足を受け、これらの日系人が日本へ「出稼ぎ」や「帰還」の形で居住するようになったため、特定の自治体で外国人人口の多くを占める現象が起きています。
問10	答え 4 若狭湾に見られるようなリアス海岸の地形を有し、眼鏡フレームの生産が盛んな平野部を持つ。	福井県は若狭湾の入り組んだリアス海岸や、鯖江市を中心に発展した世界的な眼鏡産業で知られています。提示された鉄道営業距離（295km）や県庁所在地の人口（約27万人）といった統計は、北陸地方の中でも福井県の特徴を示すデータです。選択肢の「金箔や漆器」は石川県、「アルミニウム工業」は富山県の特徴であり、これらと区別する必要があります。
問11	答え 4 眼鏡のフレーム	福井県の鯖江市は、日本国内で生産される眼鏡のフレームの大部分を製造する日本最大の産地です。明治時代に、冬の積雪で外仕事ができない時期の副業として始まったものが、後に技術革新を重ねて世界的なブランドを支える一大産業へと発展しました。
問12	答え 3 山梨県	中央高地に位置する山梨県は、周囲を高い山々に囲まれた盆地が広がっています。降水量が少なく日照時間が長いという内陸部特有の気候に加え、甲府盆地の縁に広がる水はけの良い地形を利用することで、米よりも付加価値の高いブドウやモモなどの果樹栽培が発展しました。
問13	答え 1 レタス	長野県などの高冷地では、夏の涼しい気候を生かして出荷時期を遅らせるレタスの抑制栽培が盛んに行われています。